

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 5月 27日

都道府県知事
(市長)

三日月 大造 殿

提出者

住 所 滋賀県野洲市市三宅800番地
氏 名 京セラ株式会社 滋賀野洲工場
工場長 山田 新一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 077-587-8782

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	京セラ株式会社 滋賀野洲工場
事業場の所在地	滋賀県野洲市市三宅800番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

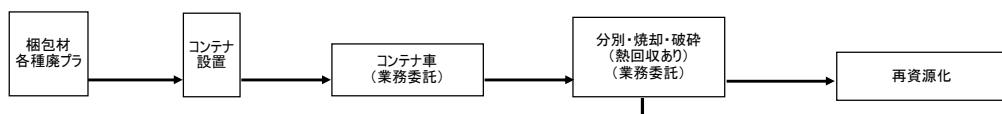
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	電気機械器具製造業
②事業の規模	総生産金額：388億円
③従業員数	1984名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

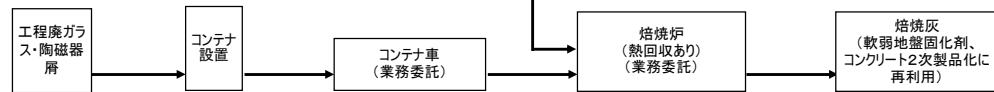
(日本工業規格 A列4番)

第1面別紙 ④産業廃棄物の一連の処理の工程

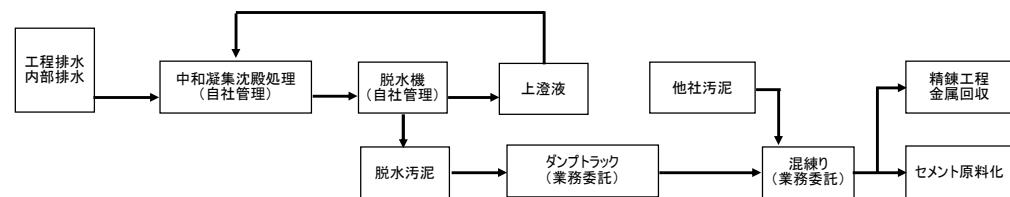
廃ガラ



ガラス・陶磁器屑



汚泥



廃酸



廃アルカリ



木屑



廃油



汚泥・金属混合



ガラス・陶磁器・金属・汚泥混合



金属屑

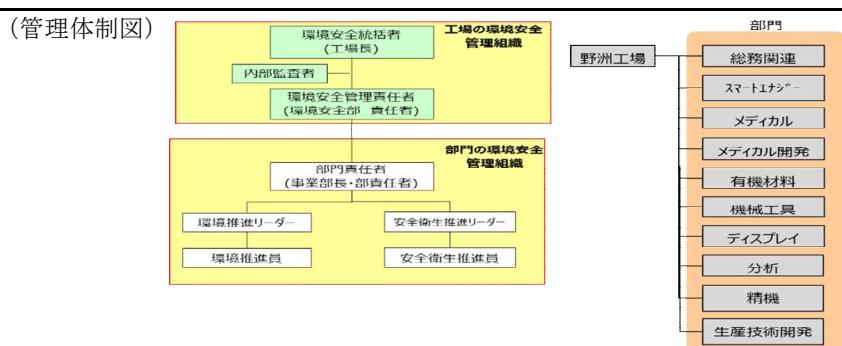


焼電気機械器具



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



環境安全統括者：京セラ株式会社 滋賀野洲工場の施策について統括する。

内部監査者：工場のESMSが適切に運営され、機能しているかを評価する。

環境安全管理責任者：工場長を補佐し、環境安全施策を策定・実施する。

部門責任者：工場各部門の環境安全に関する実務を管理する。

推進リーダー・委員：野洲工場の環境安全に関する施策の策定・実施を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類 別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり
	排出量 t t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類 別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり
	排出量 t t
(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラス、ガラス・コンクリート陶磁器屑、汚泥、廃酸、灰アルカリ、木屑、廃油、汚泥・金属混合、ガラス・陶磁器・金属・汚泥混合・金属屑・廃電気機械器具 各種分別によるリサイクル推進
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスの分別細分化によるリサイクル率の向上 新規業者開拓に合わせた分別によるリサイクル推進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】		
産業廃棄物の種類		別紙「産業廃棄物の種類と搬出量」のとおり
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃プラスチック		ガラス、コンクリート、陶磁器くず ^a		汚泥		廃酸		廃アルカリ		木くず		廃油		汚泥・金属混合		ガラス・陶磁器・金属・汚泥混合		金属屑		廃電気機械器具			
	現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)		現状 (前年度実績) (目標)					
	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量	118.9 t	176.7 t	44.4 t	39.8 t	969.7 t	929.2 t	32.8 t	31.1 t	5.6 t	6.1 t	178.1 t	264.5 t	39.7 t	41.6 t	0.2 t	0.2 t	0.8 t	0.9 t	15.3 t	16.4 t	51.5 t	102.5 t
これまでに実施した取組	廃プラスチック: 分別によるリサイクル推進 ガラス・陶磁器くず: 業者開拓によるリサイクル推進 汚泥: 減容化による排出量削減		廃酸: 設備仕様変更による削減 廃アルカリ: 社内処理による削減 木くず: リユースの推進		廃油: 業者開拓によるリサイクル推進 混合: LED化による削減		金属屑: 分別によるリサイクル推進 廃電気機械器具: 分別によるリサイクル推進																	
今後実施する予定の取組	廃プラスチック: 分別によるリサイクル推進 ガラス・陶磁器くず: 業者開拓によるリサイクル推進 汚泥: 減容化による排出量削減, 再原料化による削減		廃酸: 社内処理による削減 廃アルカリ: 社内処理による削減 木くず: リユースの推進		廃油: 業者開拓によるリサイクル推進 混合: LED化による削減		金属屑: 分別によるリサイクル推進 廃電気機械器具: 分別によるリサイクル推進																	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量		0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
これまでに実施した取組	特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし			
今後実施する予定の取組	特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量		0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
これまでに実施した取組	特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし			
今後実施する予定の取組	特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし			
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量		0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
これまでに実施した取組	特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし			
今後実施する予定の取組	特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし		特記なし			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量		118.9 t	176.7 t	44.4 t	39.8 t	709.2 t	675.9 t	32.8 t	31.1 t	5.6 t	6.1 t	178.1 t	264.5 t	39.7 t	41.6 t	0.2 t	0.2 t	0.8 t	0.9 t	15.3 t	16.4 t	51.5 t	102.5 t
これまでに実施した取組	優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定			
今後実施する予定の取組	優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定		優良認定・再生利用業者の選定			

1,355.7